

私たちのふるさと、うぶやまをもっと好きになる情報誌

広報うぶやま

8

August 2025

vol.658

牛馬優先

産山村

Ubuma Village

今年は梅雨明けが例年より早く、天気の良い日が続いています。

阿蘇山と青空をバックに、産山村も緑が美しい季節となりました。



突撃村民インタビュー

記 念すべき第1回は、大蘇の高木大成（たかき たいせい）さんです。

19歳で海上保安官となり第六管区海上保安本部や広島県警（出向）で42年間日本の海の安全と治安を守ってこられた高木さんは、令和7年春の叙勲で「瑞宝双光章」を受章されました。

今回、現役時代や受章後の思いを伺いました。

「入庁当初の心境は？」

駅まで両親が見送りに来たときは、少しうるっときましたね。

「42年の勤務を振り返って」

海上保安官の仕事を一度も辞めたいと思ったことはなく、やりきったという思い。家内の支援は勿論、良き上司、同僚、部下に恵まれた幸せな海上保安官人生だった。

「受章の決定を知った際の心境は？」

ありがたい、今までの努力が報われたなど。

「東京での受章式に出席して」

受章した者の務めだと思い東京での受章式に出席しました。受章者の代表として国土交通副大臣から直接叙勲の伝達を受けることができ光栄です。

「最後に一言」

この栄誉に恥じることなく、一層精励し地元産山に何らかのご恩返しができればと思っています。

この他にもたくさん現役時代や受章式での話を笑顔で語ってくださった高木さん、受章誠におめでとうございます。



今月の掲載項目

CONTENTS

- 2 - 今月の表紙／人口の動き／村の話題
- 4 - 子ども議会
- 6 - 暮らしの情報
- 12 - みんなの広場
- 15 - こどもあるある
- 16 - 社協だより
- 17 - プレイスジャーナル
- 18 - 村民カレンダー／先達の名言

6 令和7年度 23 地域の人づくり講座 産山教室

6 月23日（月）に基幹集落センターにて「地域の人づくり」講座を実施いたしました。

本講座は県庁社会教育課との共催事業であり、地域づくりにまつわる多様な研修課題を共に学ぶ機会として、令和5年から3年間の事業としてスタートし、本講座で最終回を迎えることとなりました。

産山教室としては“山村留学制度”から“公民館活動”を学び、今回は、“地域の活性化”として、全国規模で地域おこし・地域づくりの啓発とその実践に取り組まれている「やねだん」の自治公民館長「豊重哲郎」先生に来村いただきました。

豊重先生は、限界集落直前の約300人から行政に頼らない地域づくりを掲げ、集落再生に取り組み、平成30年度には「ふるさとづくり大賞 内閣総理大臣賞受賞」を受賞するといった、大きな成果をあげられた方です。

講座の中では、その取り組みの経緯を説明されつつ熱い思いを語られました。最終回を飾るエネルギッシュな講座となりました。

6 甲斐 智恵子氏 教育委員に就任 23

令 和7年6月23日付けで大利の甲斐智恵子氏が新しく教育委員に就任されました。

甲斐智恵子氏は、教育委員に就任するにあたり、「産山村の教育は他市町村に比べて先駆的な取り組みを実践している。村の子どもたちが未来の夢に向かって進めるよう学校教育の充実化を更に深化させたい」と抱負を述べられました。



7 第75回『社会を明るくする運動』 1 メッセージ伝達式

7 月1日（火）、『社会を明るくする運動』メッセージ伝達式が行われました。

この運動は、すべての人に更生保護についての理解を深めてもらい、犯罪や非行のない明るい社会を築くことを目的に、全国で展開されている運動です。式では、内閣総理大臣及び熊本県知事からのメッセージについて、伝達が行われました。

地域の安全・安心を実現するには、犯罪や非行を防止するとともに、犯罪を犯した人が再び罪を犯さないようにすることが重要です。村民の皆様のご理解とご協力をお願いします。



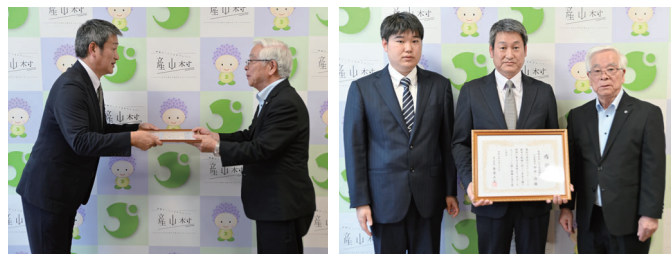
7 企業版ふるさと納税で100万円をご寄附 16 有限会社大阿蘇清掃社様に感謝状を贈呈

7 月16日（水）、産山村役場村長室において、有限会社大阿蘇清掃社（代表取締役 田中浩氏）への企業版ふるさと納税感謝状贈呈式が行われました。

同社からは、産山村のむら・ひと・しごと創生推進事業に対して100万円のご寄附をいただきました。贈呈式には田中浩代表取締役と出崎遼取締役が出席され、市原正文村長から感謝状が手渡されました。

また、今回のご寄附のご仲介をいただいた肥後銀行の横山輝宮地支店長、平川史宏木山支店長、古賀清澄木山支店支店長代理、佐藤兼正地域振興部公務室の皆様にもご臨席いただきました。

いただいたご寄附は、産山村の地方創生の推進に向けて大切に活用させていただきます。



7 「産山の教育」の魅力発信！ 3 「学力向上推進地域」研究発表会

7 月3日（木）、産山学園で「学力向上推進地域」の研究発表会が、村内外から約180名の参加者を集め開催されました。

これは、阿蘇郡市教育委員会連絡協議会が主催して指定するもので、阿蘇郡市内の中学校区で持ち回りして開催されるものです。本村は9年ぶりの開催となり、昨年度からの2年間にわたる研究指定の成果を「主体的に学習に取り組み、考えを深める子どもの育成」の研究テーマのもと、授業での子供たちの姿や研究発表で披露されました。

今回は、授業研究分科会と並行して、各市町村の教育委員や学校運営協議会委員などを集めた「教育関係者分科会」も開催。「産山の教育」の事例発表と共に「学力向上」を支える各地域の取組など活発な情報交換がなされ、参加者から好評でした。

学園の先生方の真摯な研究への取組と、村民総掛かりとも言える「産山の教育」の実践で高い学力を示している産山の子供たち。また一つ、「産山の教育」の魅力が発信された研究発表会となりました。



7 黙学で力をつけよう！ 23 「うぶやま夢塾」今年も開催

今年も7月23日（水）から、夏休み中の計10回の予定で産山村の公的塾である「うぶやま夢塾」が開催されました。

これは、産山学園生の学習をサポートし、更なる自主的な学びを伸ばすため、教育委員会が主催するものです。

午前中の前期課程、午後からの後期課程の学園生とも、集中して夏休みの宿題や自主学習、受験勉強に励んでいました。合い言葉は「黙学と集中！」。分からないところは手を挙げて卒業生有志も含めた講師の先生に熱心に聞くなど、やる気に満ちあふれている様子でした。



前期課程



後期課程



「産山村子ども議会」を開催!! ～私たちの未来のために…村政を問う～

7月15日(火)に行われた子ども議会。産山学園9年生が村に対し、様々な提言を行いました。

星山教育長より学園生に激励の言葉があり、子ども議会が開会しました。

【星山教育長の言葉】

村では、皆さん達・若者の提案に真剣に耳を傾け、検討し、実現できた取組がいくつもあります。村のイメージキャラクターづくり、天文台の設置、山鹿川への名称復元、今年度から導入した学園後期課程の新制服の導入など、この子ども議会での提案がきっかけとなっています。今日も皆さん方の提案が楽しみです。

この日を前に、皆さんはしっかりと準備してきたと思います。まず自分の考えを持ち、人の話を聞き、自分で調べ、議論しながら自分の考えを磨いていくというプロセス。そして、自分の考えを相手に納得させるプレゼンテーションの力もつけていく。この子ども議会を通して学ぶことは、これからの皆さんの色んな場

面においても大切なことと思います。そして、今日の提案で終わるのではなく、産山がふるさとの皆さんですから、これから、卒業しても、産山にこだわり、考え、課題を解決できるよう、主体的に関わっていただくことを期待して、激励のことばとします。頑張ってください。



子ども議会



子ども議会の質問や提案の一部を紹介します。

- Q1** ブラウンスイスを産山村の特産品として復活させてはどうでしょうか。ブラウンスイスを使って、ピザやヨーグルト、牛乳プリンなどに若い人たちの人気が出る商品をつくり、産山村を広めるきっかけにしたいです。
- A** ご提案いただいた内容を、乳製品加工施設やUBUYAMA PLACEを運営管理している(株)UBUYAMA PLACEの方にお伝えしたところ、ブラウンスイス商品の復活に挑戦していきたいとのことでした。村としては、ご提案の内容を含め、村内特産物の販路拡大や商品開発等に地域の方や関係事業者と協力して、今後取り組んでいきます。
- Q2** 産山村の商業発展と地域活性化を図るため、UBUYAMA PLACEの空いているところに「自然共存型イベントスペース」をつくり、地域住民との交流体験やフリーマーケット等を開催してはどうでしょうか。
- A** フリーマーケットや体験型の交流イベントについては、既存の施設を活用して、これまでも実施しておりますので、引き続き行っていきたいと考えています。一方で活用できていない既存施設も多くありますので、ご提案いただきましたアイデアを既存施設の活用の中で今後、検討していきたいと思います。
- Q3** 産山村を訪れるには道路が複雑でわかりづらいため、ヒゴタイロードを延長し、観光客など来村される人にとって目印やポイントとして活用してはどうでしょうか。
- A** 道路に愛称がつけられることにより、親しみを持てる、覚えやすく対外的に説明しやすい、知名度アップや観光振興にも役立つなどのメリットがあると思います。県道であるため、県への相談等が必要となりますが、まずは、ヒゴタイロードであることが認識できるように案内標識を設置するなど、できることから始めていきたいと思います。
- Q4** 産山村の人口増加のため、産山村の特色を生かした様々な体験をしていただく、体験型婚活「今日うぶ」を開催してはどうでしょうか。
- A** 体験型婚活は、気軽に参加できることがメリットだと思いますし、村内で体験型観光を行うことで、地元への経済波及効果も期待できるということで、たいへん効果的な取組みだと思います。村でも体験型婚活を含め、様々な開催方法を今後検討していきます。
- Q5** 産山保育園で保育留学(一時預かり制度)を行ってはどうでしょうか。村外の方が産山村に滞在することで、地域の生活を体験でき、人口創出の機会につながると思います。
- A** 産山村では、本年4月から産山学園を対象とした「うぶやま遊学」を実施しています。ご提案の内容を参考にして、0歳から15歳までの「うぶやま遊学」が実現できるよう検討していきたいと思います。
- Q6** うぶちゃんのSNSが休止しているので、うぶちゃんをつかった投稿を復活してはどうでしょうか。また、バズる工夫をして、村の認知度アップ等につなげてはどうでしょうか。
- A** 2012年ごろから「うぶちゃん」のアカウントで、村の情報を発信していましたが、村の観光情報やイベント情報などを一元的に発信するため、現在は、「産山村公式」及び「産山村観光協会(うぶやま未来ラボ)」のアカウントでの情報発信を行っています。今後は、そのアカウント内で、「うぶちゃん」の動画や画像の投稿を行うなど村の認知度アップに努めていきます。



Please
Check

見逃せない！

さっと、見落としがちな「お知らせ」。
でも大事な情報が詰まっています！見逃さないで！

□総務課 ☎25-2211 □企画振興課 ☎25-2211 □健康福祉課 ☎25-2212
□住民課 ☎25-2212 □経済建設課 ☎25-2213 □教育委員会 ☎25-2214

後期高齢者医療
加入者のみなさまへ

「窓口負担割合が2割となる方の
負担を抑える配慮措置」の期間終
了のお知らせ

令和4年10月1日から後期高齢
者医療保険の病院等での窓口負担
割合が見直されたことにより2割
負担となった方について、外来医
療の窓口負担割合の引き上げに伴
う負担増加額を1か月3千円まで
に抑える（入院の医療費は対象
外）配慮措置の期間（制度改正施
行後3年間）が「令和7年9月30
日（火）」で終了となります。
ご理解いただきますようよろし
くお願いいたします。
※本件に関するご質問等は、熊本
県後期高齢者医療広域連合給付課
にお問い合わせください。

☎096-2288-6050

トマトキバガの誘殺数急増
に伴う注意喚起について

4月から5月にかけて、県内の
野外フェロモントラップにおける
トマトキバガの誘殺数が急増して
います。誘殺数の急増に伴い、熊
本県病害虫防除所から注意報が発
令されました。

トマトキバガはナス科の植物を
食害するため、日頃から注意深く
葉や果実を観察し、登録薬剤を散
布するなど防除の徹底に努めま
しょう。

発生や被害を確認された際には、
農薬防除の継続や植物残渣等適切
な廃棄処分など、被害の拡大防止
にご協力をお願いします。

☎ 熊本県県北広域本部阿蘇地域
振興局農業普及・振興課又は
熊本県農業技術課

☎096-3333-2381

うぶやまパークゴルフ場
利用料金改定のお知らせ

うぶやまパークゴルフ場の利用
料金については、維持管理にかか
る経費高騰のため、令和7年10月
1日から次のとおり改定を行いま
すのでお知らせします。

※子ども料金については、変更あ
りません。

☎ うぶやまパークゴルフ場

☎0967-2513610

	変更前	変更後
村内大人	300円	400円 (変更)
村内子ども	200円	200円
村外大人	500円	600円 (変更)
村外子ども	300円	300円



食品適正表示推進者 講習会について

熊本県では食品の表示の更なる適正化に向けて、消費者への正確な情報提供等を推進する食品適正表示推進者の設置を図っています。受講希望の方は熊本県のホームページで「食品適正表示推進者講習」で検索し、内容をご確認下さい。

096133312290



生活困窮者
自立相談支援事業

【自立相談支援事業とは】

生活に困りごとや不安を抱えている方々からの相談を受け、支援員がどのような支援が必要かを相談者と一緒に考えて、具体的な支援プランを作成し、一人ひとりに寄り添いながら自立

に向けた支援を行います。まずは
相談窓口（社会福祉協議会）へご
相談ください。

【対象者】

村内在住で生活への困り感があり、最低限度の生活を維持することとできなくなる恐れがある方々（生活保護を受けている方は除く）です。

経済的な問題で生活に困っている方、長く失業している方、ひきこもりで悩んでいる方、働いた経験がなく不安な方など、様々な課題や問題を抱えている方々が対象となります。

産山村社会福祉協議会

0967-1231-9300



LPガス支援金（第3弾）の申請はお済ですか？

産山村では、昨年度に引き続き村内でLPGガスを使用されている個人の方に対して支援金を給付する「令和7年度産山村LPGガス価格高騰対応生活者支援事業」を実施しています。

第3弾の今回は、支援金額1契約あたり5,000円で、申請期限は令和7年10月14日（火）までとなっています。

第2弾（令和6年5月20日～8月23日）に支給を受けられた方で、現在も変わらずご使用中の方は、今回新たに申請する必要はございません。



詳しくは、熊本県LPガス支援
金コールセンターまでお問い合わせ
ください。

なお、申請先は、「熊本県LPガス支援事務局」です。

役場（企画振興課では、受付で
きませんので、ご注意ください。

問 熊本県LPガス支援金

コールセンター

096130010734

平日（祝日除く）午前9時から
午後5時まで



支援金申請
特設WEBサイト

『緑の募金運動』へのご協力
ありがとうございました

3月1日から5月31日までの間、熊本県の緑と水に恵まれた生活環境を守るための「緑の募金運動」を実施しましたので、結果をご報告します。

お預かりした「緑の募金」は、熊本県緑化推進委員会を通じて森林ボランティア団体や緑の少年団による森づくり活動に対する助成等に活用されます。

ご協力いただきました皆様、誠にありがとうございました。

区 分	金 額
産山区	7,400円
田尻区	8,200円
山鹿区	10,700円
大利区	2,900円
片俣区	3,700円
役場職員互助会	51,000円
合 計	83,900円



阿蘇警察署からのお知らせ

「国際電話詐欺に注意！！」

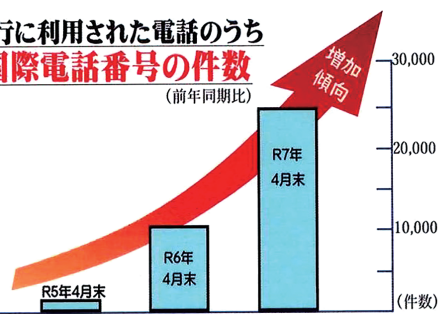
みんなでとめよう!! 国際電話詐欺！

**+(国番号)から始まる
国際電話番号に注意！**



詐欺の犯人は国際電話番号を使って詐欺の電話をかけています。

**犯行に利用された電話のうち
国際電話番号の件数**
(前年同期比)



国際電話不取扱受付センター

0120-210-364

オペレータ案内 平日9:00~17:00

自動音声案内 平日・土日祝24時間

Webからの申込み

<https://www.kokusai-teishi.com>



警察庁・SOS47

特殊詐欺対策ページ

キャリアの着信拒否サービスや電話着信規制アプリのご利用をおすすめしています。



社協に寄せられた善意の寄付【7月分】

毎月、「福祉のためにぜひ役立ててください。」と、たくさんの善意をお寄せ頂いております。その主旨に沿うように、地域福祉の発展のために有効に活用させていただきます。

【香典返し】

- ・井野 ミヨコ 様より (山中) 故) 利秋 様分として
- ・井 史生 様より (東田尻) 故) 康雄 様分として
- ・井 祥子 様より (上山鹿西) 故) 昭光 様分として

心から感謝申し上げます。

ありがとうございました。

令和8年度 専修学校 熊本県立農業大学校 学生募集

魅力いっぱいの農業大学校で、農業のプロをめざしませんか！

－ 農大の特色－

- ①実践技術の習得及び課題解決能力の向上を目指したプロジェクト活動、並びに先進農業者や農業法人等派遣研修により、高度な農業技術や優れた経営理念を学べます。
- ②学生寮は希望入寮制であり、自宅からの通学も可能です。寮生活では、規則正しい生活と学生相互の親交を深めることで、「生涯の仲間づくり」ができます。
- ③卒業生には専門士（農業課程）の称号が付与されるとともに、国の修学支援制度（給付奨学金、授業料減免）の活用及び卒業後に4年制大学への編入受験も可能です。
- ④大型特殊・けん引免許（農耕車限定）、家畜人工授精師、毒物劇物取扱者、危険物取扱者、フラワー装飾技能士など多くの資格が取得可能です。
- ⑤ドローン・マルチコプター操作研修や農作物鳥獣被害対策実務者研修を実施するなど、新技術の習得にも力を入れています。
- ⑥進路コーディネーターを配置し、県内農業法人をはじめ、就職先、進学先の情報収集や学生面談の実施等、充実した進路指導を行っています。

1. 入学者選抜日程等

区 分	願書受付期間	選抜日時	合格発表	選抜方法	選抜場所
推薦入学者選抜 高等学校推薦及び 地域推薦（市町村）	令和7年（2025年） 9月2日（火） ～9月9日（火）	10月1日（水）	10月16日（木）	学力検査 （国語総合（古文・漢文 を除き、作文を含む。） 面接及び提出書類等	熊本県立 農業大学校 熊本県 合志市 栄 3805
一般入学者選抜 （第1回）	令和7年（2025年） 10月27日（月） ～11月7日（金）	12月3日（水）	12月18日（木）	学力検査 （国語総合（古文・漢文 を除く。）、数学Ⅰ） 面接及び提出書類等	
一般入学者選抜 （第2回）	令和8年（2026年） 1月5日（月） ～1月16日（金）	2月10日（火）	2月18日（水）		

2. 募集定員

農学部（修業年限2年）

・農産園芸学科30人 ・野菜学科30人 ・畜産学科20人 計80人

3. 受験料等

入学試験手数料： 2,200円

入 学 料： 5,650円

授 業 料：118,800円／年

※詳しくは、熊本県立農業大学校農学部教務課までお問い合わせください。

熊本県合志市栄 3805 番地

電話：096-248-1188

FAX：096-248-4432



令和7年度 阿蘇広域行政事務組合 職員採用試験案内

1. 第1次試験日 令和7年9月21日（日）

2. 受付期間 令和7年7月28日（月）から8月15日（金）まで
（土、日、祝日を除く）
受付時間は、午前8時30分から午後5時まで

3. 試験区分等

区分	職種	採用予定数	職務内容	受験資格
高等学校 卒業程度	消防	5人程度	消防部局に勤務し、 消防業務に従事します。	平成12年4月2日から 平成20年4月1日まで に生まれた人

※ 詳細は、阿蘇広域行政事務組合ホームページでお知らせします。

試験に関する問合せ先

阿蘇広域行政事務組合事務局総務課人事係

☎ 0967-24-5111

マイナビ ツール・ド・九州2025熊本阿蘇ステージが開催！

令和7年10月10日（金）～13日（祝・月）、長崎県・福岡県・熊本県・宮崎県・大分県において、「マイナビ ツール・ド・九州2025」が開催されます。

近年九州を襲った自然災害からの復興を象徴するイベントとして開催を決定したUCI（国際自転車競技連合）の公認を受けた国際サイクルロードレースです。

12日（日）に開催される熊本阿蘇ステージは南小国町の瀬の本レストハウスをスタートとし、南阿蘇村役場をゴールとする約119kmのコースです。世界に18チームしかない「UCIワールドチーム」からもチームの出場が決まっており、世界最高レベルの選手達によるサイクルレースを熊本で観戦できる貴重な機会です。是非、会場やコース沿線に足をお運びください。

大会当日は交通規制を予定しております。ご迷惑をおかけし、大変申し訳ありませんが、何卒ご理解、ご協力くださいますようお願いいたします。

詳細はQRコードでご参照ください。

※交通規制時間は現時点での目安です。

今後協議により詳細時間を決定します。

日 時：2025年10月12日（日）

スタート：9:00

走行区間：南小国町 → 産山村 → 阿蘇市 → 高森町 → 南阿蘇村

走行距離：約119km

※今後の調整のなかで、一部変更する可能性もあります。詳しい情報は随時更新予定です。



第11回 Aso 動物愛護まつり

「第11回Aso動物愛護まつり」が開催されます。長寿犬猫表彰、動物フォトコンテスト、犬のしつけ方相談、乗馬体験など、動物に関するイベントを開催予定です。

日時：令和7年（2025年）9月27日（土）13：00～14：30

場所：四季彩いちのみや（阿蘇市一の宮町宮地538番地1）

参加費：無料

主催：阿蘇地域動物愛護推進協議会

問合せ先：阿蘇地域動物愛護推進協議会事務局（阿蘇保健所衛生環境課内）

住所：〒869-2612 阿蘇市一の宮町宮地2402

電話番号：0967-24-9035

産山村役場 住民課 電話番号：0967-25-2212

※なお、ペットの同伴につきましては、熱中症や事故等の危険性も考えられますので、十分ご注意ください。

●長寿犬猫表彰、動物フォトコンテストは事前申し込みが必要です。

- ・申込期間：8月18日（月）～9月5日（金）
- ・申込用紙：産山村役場及び阿蘇保健所で配布します。
- ・申し込み先：産山村役場 住民課

●申し込み要件

【長寿表彰】

＜犬の場合＞

- ・産山村に登録があり、狂犬病予防注射済の犬
- ・15歳以上であること

＜猫の場合＞

- ・動物病院で3種混合ワクチン接種を行っている猫
- ・15歳以上であること



【動物フォトコンテスト】

- ・動物種は問いませんが、人と仲良く写っている写真に限ります。

熊本市子牛市場品種別セリ成績表 ※熊本市畜産農協阿蘇支所統計による

黒毛和種	セリ日		性別	頭数	価格(平均)	先月比	体重(平均)	kg単価	日齢(平均)
	7月9日(水) ～ 7月11日(金)	県市場平均	去勢	698	681,880	▲18,814	329	2,075	291
			メス	510	582,433	▲9,073	296	1,965	239
		産山牛平均	去勢	23	708,783	▲14,577	336	2,111	292
			メス	13	642,231	17,181	306	2,098	297
褐毛和種	セリ日		性別	頭数	価格(平均)	先月比	体重(平均)	kg単価	日齢(平均)
	7月17日(木)	県市場平均	去勢	179	630,626	3,856	334	1,889	291
			メス	150	569,279	5,874	310	1,834	301
		産山牛平均	去勢	6	725,817	167,567	387	1,878	258
			メス	1	554,400	▲124,740	303	1,830	312



地域おこし協力隊通信

こんにちは！ 地域おこし協力隊ヒゴタイ公園キャンプ村配属の野口翔吾です。

朝晩寒かった5月から初夏いきなりの暑さ。身体が慣れるまで外作業は大変でした。しかし仕事終わりに村の名湯御湯船温泉館で気分も身体もリセットして頑張れています。疲れた身体に温泉は本当に効くなど日々実感しています。

暑さも熊本市内などに比べると涼しい産山村。とくにヒゴタイ公園キャンプ村は村内でも標高が高く訪れるお客様は涼しいと喜んでくれています。そんな場所で働いていますが慣れとは恐ろしいもので、関東の最高気温35℃以上が当たり前の夏を過ごしていたのに涼し

い産山村の夏に慣れてしまいました。

地球温暖化の影響で産山村の夏も年々暑くなる中、長く産山村で生活される村民の方には経験のない暑さが続くかもしれません。

でも温泉地帯に囲まれている産山村は本当に恵まれた立地です。温泉選び放題！これは本当に地元友達に自慢しています。夏の暑さに疲れた身体は温泉で癒しながら夏を乗り切りましょう！

産山村地域おこし協力隊

野口 翔吾



地域おこし協力隊活動報告会

令和7年7月15日（火）、産山村基幹集落センターにおいて「令和7年度産山村地域おこし協力隊活動報告会」を開催いたしました。

産山村では現これまでに17名の隊員が様々な分野で活躍してきました。今回の報告会では、現在活動中の隊員5名と任期満了により退任された隊員2名から、それぞれの活動内容について報告していただきました。

観光振興では、一般社団法人うぶやま未来ラボの平野敦子さんと田中竜馬さんが、観光イベントや観光資源の発掘・活用について報告しました。

ふるさと納税の分野では、同じくうぶやま未来ラボの野口玲菜さんが、返礼品の企画・開発について説明しました。

ヒゴタイ公園キャンプ村の運営では、株式会社うぶやまの野口翔吾さんが、キャンプ場の管理運営について報告しました。

教育分野では、産山村教育委員会の龍杏奈さんが、放課後児童クラブ活動について発表しました。

現隊員の皆さんからは現在の活動報告に併せて、退任後の事業計画や方向性についても語っていただきました。

した。

また、任期満了により退任された隊員からも報告があり、移住定住促進を担当した家入夏来さん（令和7年4月末退任）と、うぶマートの運営に携わった出口佳里さん（令和7年3月末退任）が、それぞれの活動成果について話されました。

地域おこし協力隊は今後も引き続き活動を行っていきます。村民の皆様におかれましては、引き続き温かいご支援とご協力をお願いいたします。

報告会にご参加いただいた皆様、ありがとうございました。





本の部屋から

戦後80年の夏を迎え、戦時下に起きたことを生の声で語ったり、間違った情報や解釈を「それは違う!」と体験者として正すことができる方たちが減ってきているという現実と直面しています。

しかし私たちの手元には、伝えなければという使命感で書かれた証言や書物が残されています。しっかりと受け取り次世代に伝えていくことが今の私たちの責務と感じています。

世界には今も戦争に巻き込まれている人々がいることも看過できません。彼らにはいつ戦後が訪れるのでしょうか。

小さな図書館ですが「知ること」のきっかけの一助となれたら幸いです。



「いしづみ」
広島テレビ
放送／編
ポプラ社



「わたしの
ひめゆり戦記」
宮良ルリ／著
ニライ社



「15歳の東京
大空襲」
半藤一利／著
筑摩書房



「ぼくが見た
太平洋戦争」
宗田理／著
PHP研究所



「総員玉碎せよ!」
水木しげる／著
講談社



「秋」
かこさとし／著
講談社



「中学生から
知りたい
ウクライナのこと」
小川哲・
藤原辰史／著
ミシマ社



「中学生から
知りたい
パレスチナのこと」
岡真理・小川哲・
藤原辰史／著
ミシマ社

《8月の学園図書館開放日》

9 (土)・23 (土) 10:00~15:00



文芸のいずみ

この草は 花咲く前に ぬき取れと 義母に教わり 今も忘れず
休日に 孫達の声 にぎやかに 足の痛みも しばし忘れて
孫が来て よろける 我の 手をにぎる そのぬくもりに 幸せ感じ

雪井 早苗

五月田に さざなみ立てば 父母のかげ 教えは今も ころに宿り
我が手見る いやになるほど 武骨な親にもらった 大事な宝
儼とじ 我が半生を 省みる 良きも悪しきも 我が人生(みち)なりと

酒井 耐子

ALT 通信

コリン・マウラー

出身»アメリカ合衆国ジョージア州アトランタ市



産山での思い出

産山学園に新しい英語の先生が学校に来られます。それは、私が任期を終え、アメリカに帰国するからです。

産山の皆さんお世話になりました。新しい先生に産山の魅力を案内することはとても楽しみです、ここでの生活のことを思い出すと本当に寂しく思います。

都会育ちの私は、ここに来る前はどんなことが待ち受けているのか全く分かりませんでした。でも、産山に来てから自然をより楽しめるようになったことに気づきました。よく、夕方に散歩やランニングに出かけ、日差しを浴びる山々の景色を眺めています。夜になると野球場の真ん中に立ち、満天の星空を見上げることもあります。こうした瞬間を思い出すぐだけで、すでに恋しく感じます。

でも、私が恋しくなるのは自然や経験だけではありません。産山の皆さんは、私のこの素晴らしい時間を過ごす上で、大きな存在でした。この3年間、私を受け入れてくださったことに心から感謝しています。学校の先生方、生徒の皆さん、保護者の皆さん、本当にありがとうございました。毎日温かく迎えていただきました。また、日本での生活に必要なあらゆる面でサポートしてくださった村役場、教育委員会、郵便局の皆様にも感謝申し上げます。最後に、いつも親切にいただいた、村の商店の皆さんにも本当に感謝しています。皆さんのおかげで、ここでの暮らしは素晴らしいものになりました。この思い出をアメリカに持ち帰り、いつまでも大切にしていきます。近いうちに必ずまた訪れますので、待っていてくださいね!



福祉サービスセンター 「ほっと館」です



☎ 0967-25-2233

7月の初めに『産山学園子供ヘルパー』の皆さんがほっと館に来てくれました。ご利用者様、かわいい子供たちと一緒に棒倒しゲーム・百科事典ゲームをして、しばし暑さも忘れて笑顔いっぱいでした。

ヘルパーの皆さんありがとうございました。また来てくれる事を楽しみにしています。



産山波野分駐所だより

☐ 阿蘇広域消防本部 ☎0967-34-0024

☐ 産山波野分駐所 ☎0967-24-2766

「楽しい花火を、悲しい事故にしないために」 ～夏の夜を安全に彩ろう～

夏の夜、家族や友人と囲む花火の時間は、きらきらとした笑顔があふれるひとときです。しかし、毎年全国では、花火が原因の火傷や火災、けがの事故が多く発生しています。その一瞬の油断が、大切な人を傷つけたり、地域の安全を脅かすことにもなりかねません。「楽しかったね」と終われる夏の夜にするために、次の5つの心得を守りましょう。

火の取り扱いには「いつも以上の注意」を。地域の皆さま一人ひとりの意識が、安心な夏をつくれます。

【1】花火は“場所選び”が命

花火をするなら、住宅や車両から離れた広い場所を選びましょう。

燃えやすい草むらや木の近くでは絶対にやめましょう。

※村内の公共施設や公園では、場所によって花火が禁止されている区域もあります。事前に確認を。

【2】「水」は“消す”だけでなく、“守る”ための備え

・バケツに水を入れて準備し、使い終わった花火は必ず水に浸けましょう。

・着火用のライターやろうそくの転倒にも注意し、周囲に水を常備しておきましょう。

・お子さんの手が届かない場所に火元を置くことも忘れずに。

【3】子どもだけの花火は禁止です

「小さな火だから大丈夫」と思っていませんか？子どもは予想外の動きをします。大人が常に目を離さず、使い方を教えることが大切です。

【4】風の強さは「中止のサイン」

少しでも風が強いと感じたら、花火は中止または延期しましょう。

飛んだ火の粉が、衣服や周囲の物に引火するおそれがあります。

【5】翌朝に火災が起きることも…「後始末」はその日のうちに

・花火の燃え残りやゴミは、必ず水で消火を確認してから捨てること。

・そのままにすると、翌朝の火災や山林火災につながることもあります。

最後に、夏の花火は、家族や友人と心を通わせる貴重な時間です。しかし、安全が守られてこそ、本当に楽しい思い出になります。火の取り扱いには「いつも以上の注意」を。

地域の皆さま一人ひとりの意識が、安心な夏をつくれます。



うぶやまが こどもあるある マンガ



Vol.63



ちょっとしたもやもやにもそれぞれ理由があって、
ちいさいからってゼロじゃない
だから、自分の心をちゃんとでんでしてあげとかなないと
いけないし、自分だって誰かの心に知らずにおさしてるかもしれないって
いつもちょっと気にしておくことが大事かも
誰もカンペキじゃない。みんなすこしずつヘンな人。ワタシも。
だからせめて、ごめんなさいと言えるひとでいたい。



うぶやま放課後児童クラブ支援員
おおたにまさえ

社 協 だ よ り

－ ふれあいで育てよう、ふくしの心 －

産山村社会福祉協議会

☎0967-23-9300

〒869-2703

産山村山鹿 488-3

子どもヘルパーの地域訪問活動

＊ゴールドクラブ訪問＊

6月23日（月）に子どもヘルパー活動として産山学園4年生の15名がゴールドクラブ（山鹿地区公民館で毎週月曜日に開催している通いの場）に参加しました。

子どもヘルパーに任命された4年生初の活動です。最初は緊張していた子ども達ですが、一緒に体操や“ピンポン玉スプーンリレー”や“お手玉遊び”、“肩たたき”等のレクリエーションを通して自然に笑顔が出ていました。

4年生からのダンス披露では、息の合ったダンスに会場みんなで大きく盛り上がりしました。最後に全員で大塚正義さんのギター演奏に合わせて「上を向いて歩こう・365歩のマーチ・ぼくらはみんな生きている」を合唱しました。

参加者の方々からは、「遠く離れた孫を思い出して涙が出そうだった」「一人暮らしなので声を出すこともあまりないが、今日は本当に楽しかった。ありがとうございました。」「年に1度と言わずまた来てほしい」等々感謝の言葉を沢山いただきました。



＊自宅訪問＊振り返り・事前学習会＊

6月26日（木）は、産山学園の6年生と7年生が2人1組になり11件のお宅に分かれて訪問しました。

今回の第1回目訪問では、コミュニケーションを取り支援者の方のニーズを把握することを意識して活動しました。折り紙、トランプ、掃除等をしたり、質問表を使用して会話のきっかけを作ったり、学園生にも質問してもらいながらお互いの話をすることができました。

また、7月3日（木）は産山学園メディアセンターにおいて、第1回目訪問の振り返りと第2回目訪問に向けての事前学習会を実施しました。

1回目の訪問で、コミュニケーションを取って支援者のニーズを確認するというミッションは概ねクリアできたことを確認し、2回目の訪問でもっと支援者の方に満足してもらうにはどのような活動をするべきか、意見交換を行いました。学園生からは「支援者の方の好きな話をする」「自分も相手も笑顔になれるように活動する」などの意見がでました。

産山村社会福祉協議会の高橋、井からは、「相手に記憶をプレゼントすること（前回どんな話をしたかなど）」や「聞く姿勢と話すときの心構え」など、やはり笑顔や共感などコミュニケーションをとることが大切とお話がありました。それを受け、学園生からは「失敗を怖がらず、自信をもって話す」「目を見て話す」「話題をふってもらうだけでなく、自分から話す」と2回目訪問への意気込みが聞かれました。

次回は11月に第2回目の訪問活動を計画しております。支援者の方にもっと満足していただけるよう、しっかり準備をしていきます。



プレイス ジャーナル

PLACE JOURNAL
Vol.014

7月7日 セタの日。

UBUYAMA PLACEは無事に1周年を迎え、村民の皆様へは心ばかりではございますが、日頃の感謝を込めたイベントを開催させていただき、たくさんの方々がお越しくださいました。ありがとうございます。

～ ピッツァづくり体験 ～



～ チーズづくり体験 ～



1周年イベントへのご参加・ご協力くださり本当にありがとうございました！

「たくさんの友達を作りたい」「家族がずっと元気でいられますように」「ウブヤマプレイスがもっと人気になりますように」等、産山村の子どもたちの夢短冊で店内は和やかに彩られ、日々成長されていくお子様達と一緒にこの日をご一緒させていただき、とても感慨深い気持ちでいっぱいです。そして、チーズ・ピッツァづくり体験にも、たくさんご参加をいただくことができ、「体験できてよかった、またやりたい！」「人生初めての貴重な経験だった」等の嬉しいお言葉をいただき、とても穏やかな気持ちになりました。改めてイベントへのご参加とご協力いただいた皆様に深く感謝申し上げます。UBUYAMA PLACEはこれからも産山村の皆様とともに歩んでまいります。これからもUBUYAMA PLACEをよろしくお願いいたします。



8月

AUGUST

村民カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
ヒゴタイ交流生 出発 阿蘇郡市人権同 和教育研究大会 3	行事は予定ですので、詳細 については役場担当課まで お問い合わせください。		4 可燃物	5	6 不燃物	7 可燃物
10	山の日 11	12 可燃物	13 ビン・カン	14	15 可燃物	20歳のつどい うぶやま天台・ 阿蘇火山博物館 連携イベント 16
17	18 可燃物	かたらん会 時 14:00~ 所 山鹿公民館 19	20 リサイクル	21	22 可燃物	学園図書館開放日 時 10:00~15:00 ヒゴタイ交流生 帰村 23
24	25 可燃物	家族介護の会 時 14:00~ 所 高齢者支援 センター 26 ビン・カン	27	28	29 可燃物	30
住民健診 (ふるさと総合 健診) 31	住民健診 (複合健診) 9/1 可燃物	住民健診 (複合健診) 2	住民健診 (複合健診) 3	4	5 可燃物	6

「診療所」診療日時：月～水曜日（第5水曜日は除く）9:00～16:00・第5水、木、金曜日 9:30～16:00 時 時間 所 場所
（年末年始・祝日の場合は休診）

人口の動き（令和 7 年 7 月 16 日現在）※（ ）内は前月比

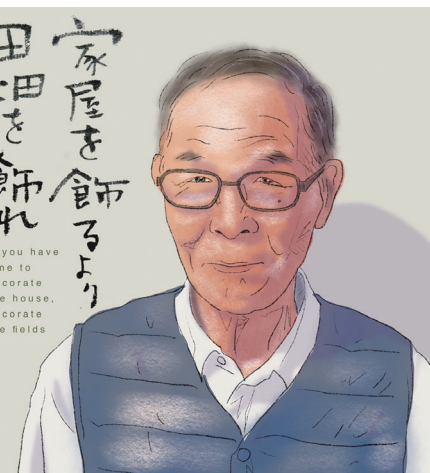
人口 ※住民基本 台帳 / 外国 人含む	計	1,334人	(-2)	転入	5人
	男	703人	(±0)	転出	4人
	女	631人	(-2)	出生	0人
世帯数	659世帯		(+1)	死亡	1人

◇お悔み申し上げます

井野 利秋 様（山中） 7 月 8 日没

先達の名言

田尻を飾れ
家屋を飾るより



If you have
time to
decorate
the house,
decorate
the fields

田尻（I.Aさん）

村の情報を
もっと身近に

